

地震・防災に関するアンケート調査結果

危機管理政策課

1 調査目的

県では、地震防災対策を総合的かつ計画的に推進するために「第三期岐阜県地震防災行動計画（平成28～31年度）」を策定しています。今後、行動計画推進のための基礎資料とさせていただくため、アンケート調査を実施しました。

2 調査対象など

調査対象：県政モニター485人（うちインターネットモニター278人）

調査方法：郵送及びインターネット

調査期間：令和元年6月3日～6月17日

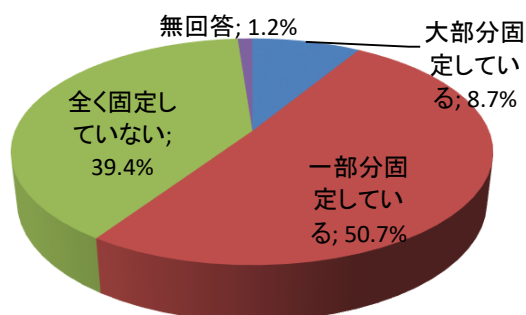
回収結果：426人（回収率 87.8%）

構成比はパーセントで表し、小数点以下第二位を四捨五入して算出しています。
そのため、合計が100%にならない場合があります。

3 結果概要

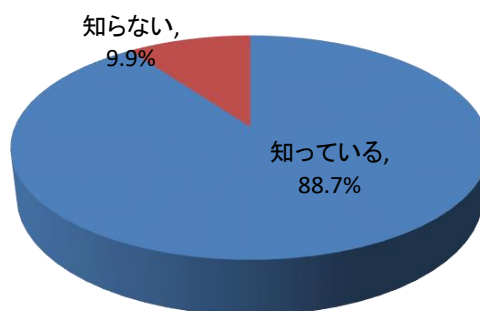
○自宅における大規模地震に備えた取組みについて

大規模地震に備えた家具、冷蔵庫やテレビなどの固定については、「全く固定していない」が約4割を占めている。



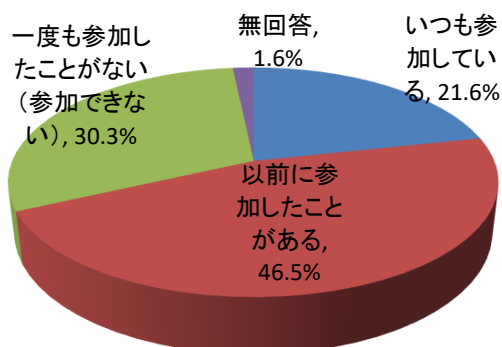
○避難所・避難場所の認知度について

自宅近くの指定された避難所・避難場所について、「知っている」が9割近くとなっている。



○自主防災活動（防災訓練など）への参加について

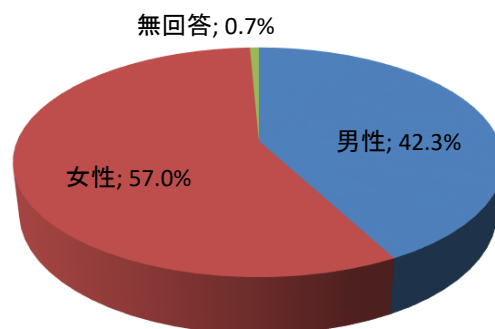
自主防災活動への参加について、「いつも参加している」「以前に参加したことがある」は合わせて約7割となっており、これまでに参加されている方が5割弱となっている。



4 回答者属性

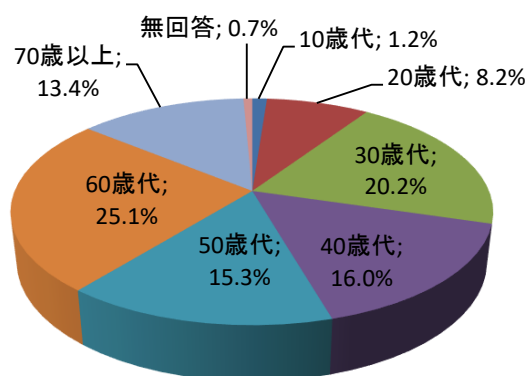
(1) 性別

	人数	割合(%)
男性	180	42.3%
女性	243	57.0%
無回答	3	0.7%
合計	426	100.0%



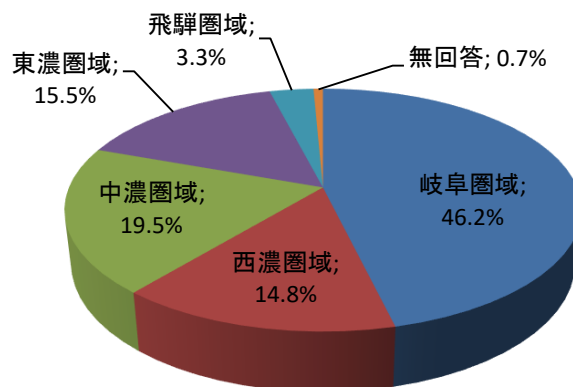
(2) 年代別

	人数	割合(%)
10歳代	5	1.2%
20歳代	35	8.2%
30歳代	86	20.2%
40歳代	68	16.0%
50歳代	65	15.3%
60歳代	107	25.1%
70歳以上	57	13.4%
無回答	3	0.7%
合計	426	100.0%



(3) 居住圏域別

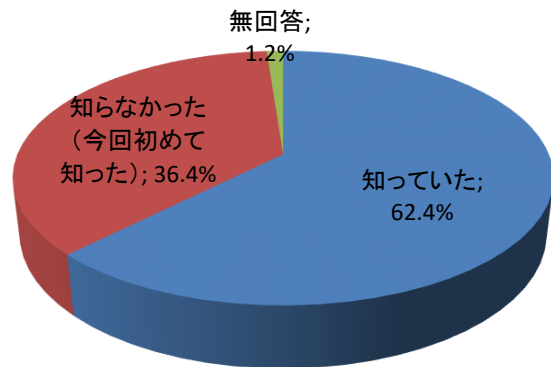
	人数	割合(%)
岐阜圏域	197	46.2%
西濃圏域	63	14.8%
中濃圏域	83	19.5%
東濃圏域	66	15.5%
飛騨圏域	14	3.3%
無回答	3	0.7%
合計	426	100.0%



5 調査結果

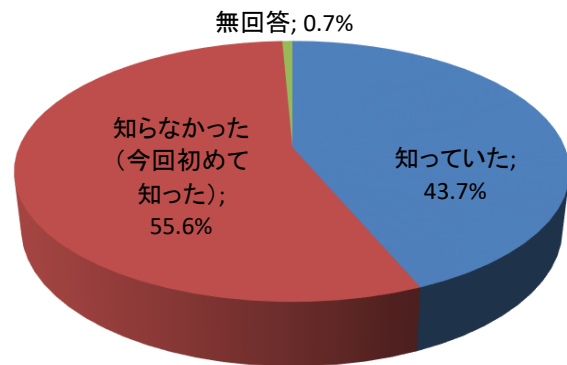
問1 あなたは、ご自分の居住地域の近くにある活断層の存在をご存じでしたか。

選択肢	回答数	割合(%)
知っていた	266	62.4%
知らなかった (今回初めて知った)	155	36.4%
無回答	5	1.2%
合計	426	100.0%



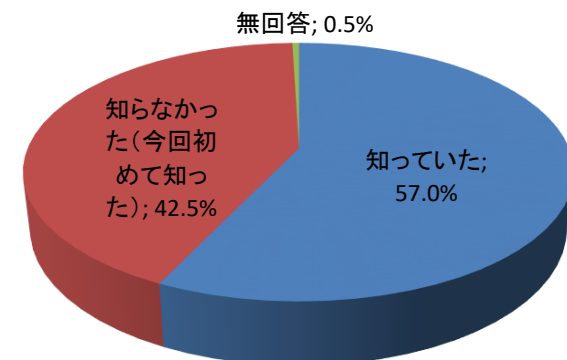
問2 あなたは、お住まいの地域が、南海トラフ地震の「南海トラフ地震防災対策推進地域」か、またはそうでないかをご存じでしたか。

選択肢	回答数	割合(%)
知っていた	186	43.7%
知らなかった (今回初めて知った)	237	55.6%
無回答	3	0.7%
合計	426	100.0%



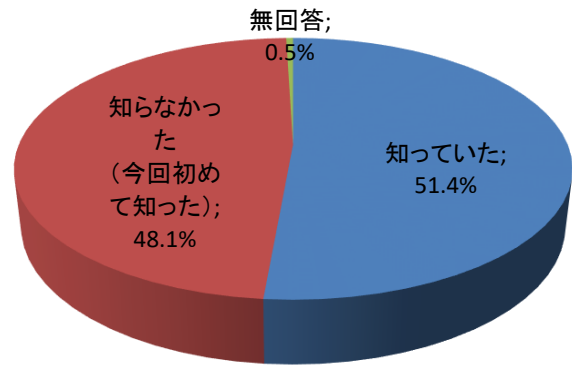
問3 あなたは、行政が実施する「木造住宅耐震診断事業」をご存じでしたか。

選択肢	回答数	割合(%)
知っていた	243	57.0%
知らなかった (今回初めて知った)	181	42.5%
無回答	2	0.5%
合計	426	100.0%



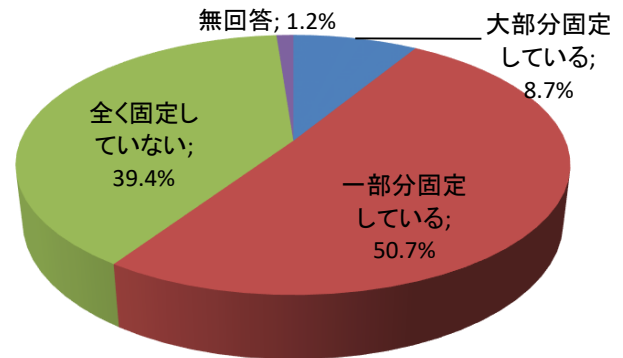
問4 あなたは、行政が実施する家屋の「耐震改修工事補助制度」をご存じでしたか。

選択肢	回答数	割合(%)
知っていた	219	51.4%
知らなかった (今回初めて知った)	205	48.1%
無回答	2	0.5%
合計	426	100.0%



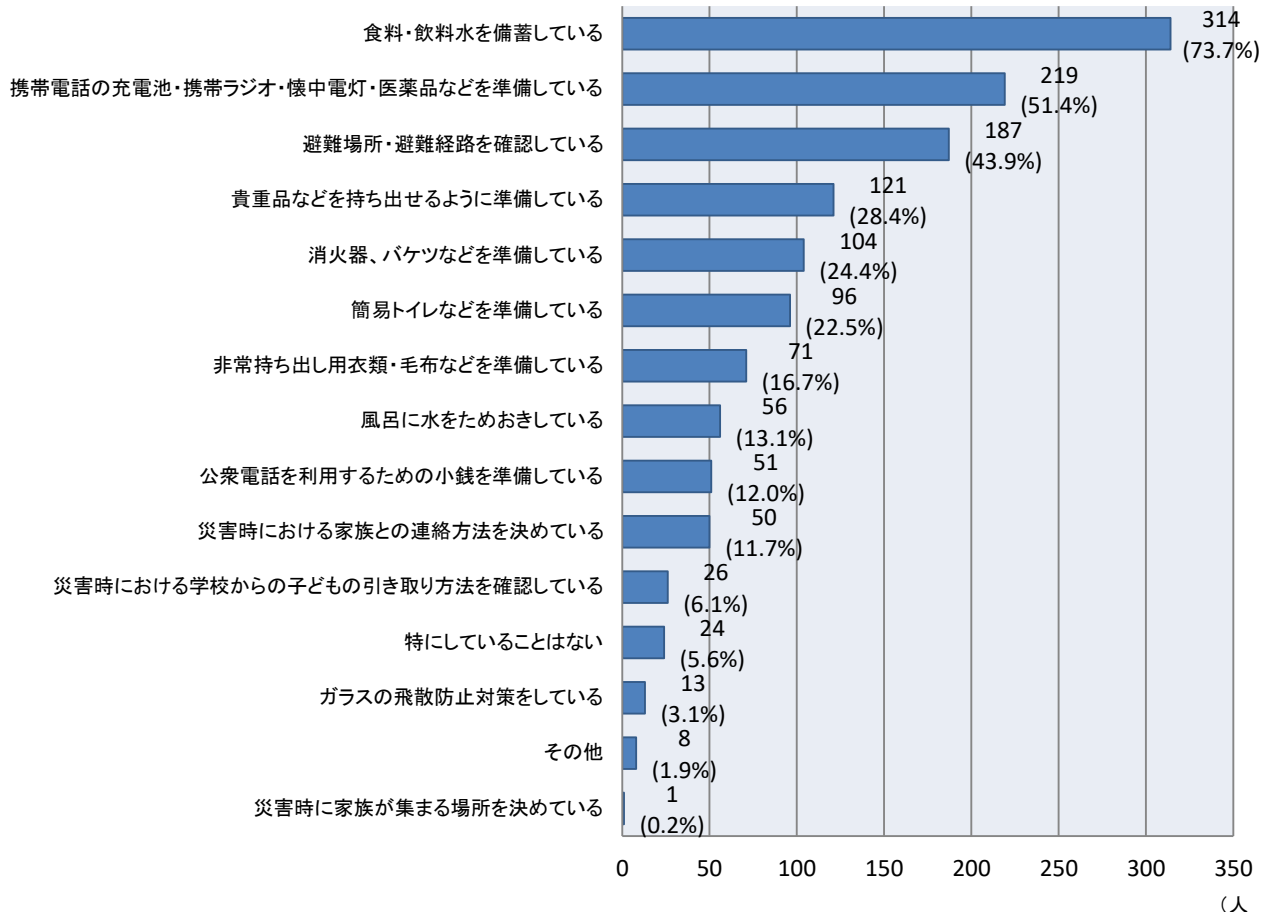
問5 あなたのお宅では、大規模地震に備えて家具・冷蔵庫・テレビなどを固定していますか。

選択肢	回答数	割合(%)
大部分固定している	37	8.7%
一部分固定している	216	50.7%
全く固定していない	168	39.4%
無回答	5	1.2%
合計	426	100.0%



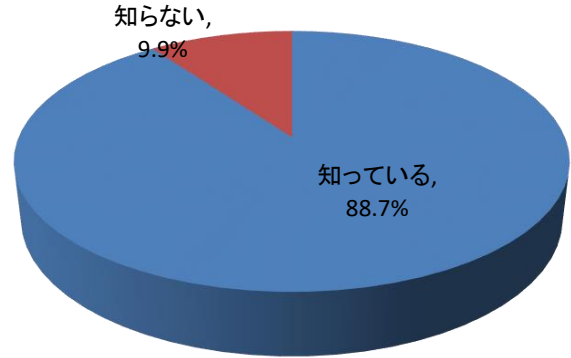
問6 あなたのお宅では、大規模地震に備えていることはありますか。

複数回答 回答者 426 人



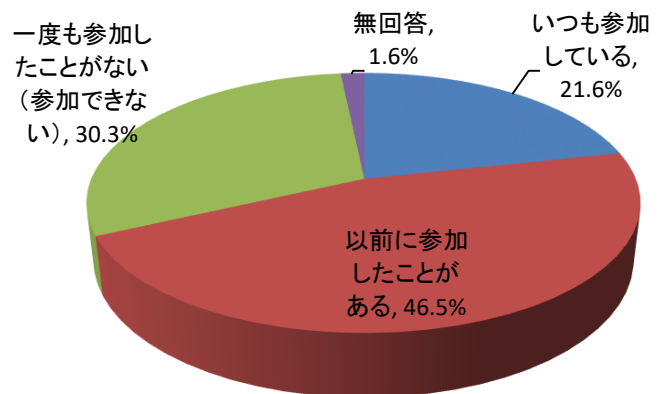
問7 あなたは、自宅近くの指定された避難所・避難場所をご存じですか。

選択肢	回答数	割合(%)
知っている	378	88.7%
知らない	42	9.9%
無回答	6	1.4%
合計	426	100.0%



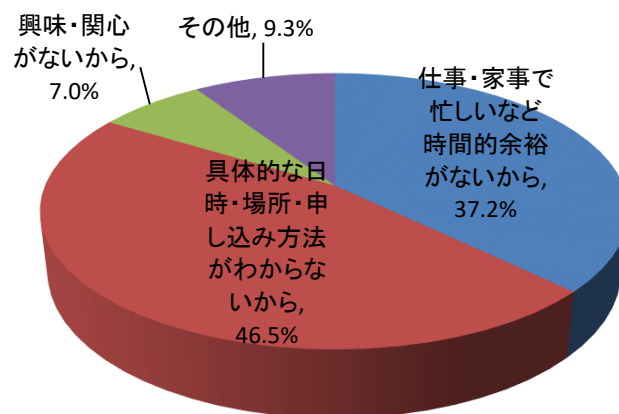
問8 あなたは、自主防災活動(防災訓練など)に参加したことがありますか。

選択肢	回答数	割合(%)
いつも参加している	92	21.6%
以前に参加したことがある	198	46.5%
一度も参加したことがない(参加できない)	129	30.3%
無回答	7	1.6%
合計	426	100.0%



問9 (問8で「一度も参加したことがない(参加できない)」と答えた方) 参加したことがない(参加できない)主な理由は何ですか。

選択肢	回答数	割合(%)
仕事・家事で忙しいなど時間的余裕がないから	48	37.2%
具体的な日時・場所・申し込み方法がわからないから	60	46.5%
興味・関心がないから	9	7.0%
その他	12	9.3%
合計	129	100.0%

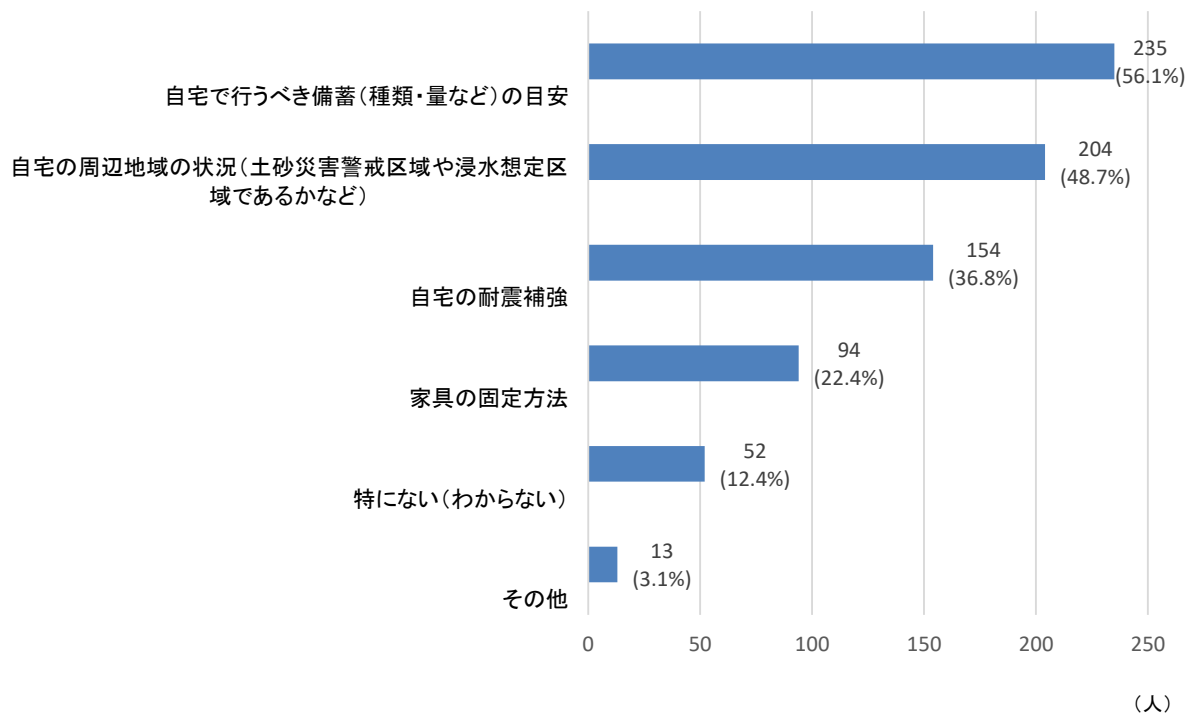


<その他>

- ・家族が参加している
- ・そのような活動をしているのを知らなかった

問10 あなたが防災に関して不安に思うこと、詳しく知りたいことは何ですか。

複数回答 回答者 419 人



問11 その他、県の防災行政に関してご意見などがございましたら、お聞かせください。
(主なものを掲載)

- 食料品など、必要な備蓄セットのようなものを、自治会ごとに購入できるような体制づくりが必要である。個人では、何をどの程度揃えてよいのかわからない。
- 3日間程度は家族が生活していけるだけの最低限の準備を具体的に示すことが重要である。
また、県民の意識を啓蒙する取組みを、いろいろな場面でできるだけ多く実施していくことを継続することで自分のものとしての防災への認識が高まるのではないかと。
- 災害の時はせめて3日間だけは自助努力で過ごせるよう(ライフラインがだめになるので)啓蒙する必要があると思う。
- 食べ物の備蓄など個人ができることは最低限やらないとだめだと思う。
- 昨年の豪雨で避難指示が出たが、避難所に行ってみたら誰もいなかった。後で地元の人に聞いてみたら、避難指示が出たことは知っていたが、行かなかったとのことだった。制度の実効性がない。
- 岐阜県は地域によっては外国人研修生が多い地域がある。大規模災害時の外国人のケアももう少し考えても良いのかと思う。
- 子どもが、ストレスなく避難生活が送れるようにしてもらいたい。
- 乳幼児がおり、災害時のオムツの普及は十分なのか。また、アレルギーがあり、災害時の食料が心配である。
- 各避難所となっている建物は、避難所として相応しい所なのか不安である。また、近隣住民が全て収容できるのか心配である。

- 防災訓練する機会を何度かに分けて、すべての住民に理解させる機会を設けて欲しい。

- 職場では、防災マニュアルを作成し、避難訓練をしているが、自分の住まい、地域で、防災訓練だけでなく、研修や講座みたいなものを開催して欲しい。

- 耐震にかかる費用を援助していただけても、自費負担が多く行えない。

- 家具の固定などの小さな対策を進めてほしい。

- 防災活動広報がわからないことと、スピーカーによる広報が聞き取りにくく、これでは災害時に避難等の情報がわからない。
防災無線(ラジオ)を無料配布してほしい。

- 一人で住んでいる高齢者を災害時にどう支援するか。

- 大きな災害を経験したことがないので、普段防災意識はほとんどない。
県が実施するイベントなどで繰り返し啓蒙すると意識の向上につながるのではないか。

- 県民に対しての告知活動を本当にしているのか、いささか疑問を持っている。
確実な展開と周知が大切なことであり、万一の災害発生時に被害を最小限に抑えることができる備えになると確信する。

- 日頃から防災情報の発信をお願いしたい。

- 防災活動について、行政が説明会を行ってほしい。

- 広報などで定期的に啓発してほしい。